



資料1

第22回かながわ食育推進県民会議

神奈川県 健康医療局 保健医療部 健康増進課

令和4年11月17日

本日の説明事項（目次）

前回会議（令和4年8月23日開催）の振り返り／今回会議の目的・論点

1 「第4次神奈川県食育推進計画」素案について

- (1) 「第4次神奈川県食育推進計画」の全体構成
- (2) I はじめに
- (3) II かながわの食をめぐる現状
- (4) III 神奈川県が目指す食育の方向
- (5) IV 食育推進の施策展開
- (6) V ライフステージごとのテーマ取組例
- (7) VI 推進体制
- (8) 参考

2 今後のスケジュール

3 その他

前回会議（令和4年8月23日開催）の振り返り 今回会議の目的・論点

前回会議（令和4年8月23日開催）の振り返り / 今回会議の目的・論点

前回（令和4年8月23日開催）の振り返り

「第4次神奈川県食育推進計画」骨子案として、次の考え方に基づき計画改定を検討していくことを決定。

- 第3次県食育推進計画を踏まえつつ、国の食育推進基本計画にも合わせた構成とする。
- 国第4次計画の重点事項を基に、「生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進」と「持続可能な食を支える食育の推進」の2つを柱にする。
- 国のもう1つの重点事項『「新たな日常」やデジタル化に対応した食育の推進』は、「横断的な視点」とされているため、独立した柱にはせず、2つの柱に位置付けた各取組の中へデジタル化の視点も入れていくこととする。

今回の会議の目的・論点

上記事項を踏まえ、「第4次神奈川県食育推進計画」素案を作成したため、素案の内容を議論いただきたい。

1 「第4次神奈川県食育推進計画」素案

- (1) 「第4次神奈川県食育推進計画」の全体構成
- (2) I はじめに
- (3) II かながわの食をめぐる現状
- (4) III 神奈川県が目指す食育の方向
- (5) IV 食育推進の施策展開
- (6) V ライフステージごとのテーマ取組例
- (7) VI 推進体制
- (8) 参考

1(1) 「第4次神奈川県食育推進計画」の全体構成

➤ 計画の全体構成は、現行計画（第3次）から変更なし。

I はじめに

II かながわの食をめぐる現状

III 神奈川県が目指す食育の方向

IV 食育推進の施策展開

V ライフステージごとのテーマと取組例

VI 推進体制

参考

1(2) I はじめに

Iはじめに
II食をめぐる現状
III目指す食育の方向
IV食育推進の施策展開

Vライフステージごとの取組例
VI推進体制
<参考>

ア 構成

➤ 第I部「はじめに」の構成は、現行計画（第3次）から変更なし。

1 計画策定の趣旨

2 計画の位置づけ

3 計画の期間

4 計画の対象区域

イ 現行計画（第3次）からの主な変更点

- 「1 計画策定の趣旨」に、「新たな日常」やデジタル化に対応した食育の推進、持続可能な食などの観点を記載。（資料2 P.2）
- 「2 計画の位置づけ」に、「神奈川県食品ロス削減推進計画」を追加。（資料2 P.3）

1 (3) II かながわの食をめぐる現状

I はじめに	V ライフステージごとの取組例
II 食をめぐる現状	VI 推進体制
III 目指す食育の方向	<参考>
IV 食育推進の施策展開	

ア 構成

➤ 第Ⅱ部「かながわの食をめぐる現状」の構成は、現行計画（第3次）から変更なし。

1 食生活と健康

- (1) 野菜摂取量
- (2) 食塩摂取量
- (3) 朝食欠食割合の増加
- (4) 肥満・低体重（やせ）の状況
- (5) 食育に関する関心※

2 食を取り巻く環境

- (1) 単身世帯割合、高齢者世帯割合の推移
- (2) 共食頻度※
- (3) 食の外部化の進展
- (4) 魚介類摂取量の減少
- (5) 神奈川県の農林水産業
- (6) 食品ロスにかかる意識

3 食に関する情報

- (1) 食品の安全性に関する理解度※
- (2) 食の安全・安心への関心度

※ 県民ニーズ調査（課題調査）の令和4年度集計結果が発表（12月中の想定）されしだい、数値を更新します。

イ 現行計画（第3次）からの主な変更点

➤ 各現状値を最新値に更新

1(4) Ⅲ 神奈川県が目指す食育の方向 ①

I はじめに	V ライフステージごとの取組例
II 食をめぐる現状	VI 推進体制
Ⅲ 目指す食育の方向	<参考>
IV 食育推進の施策展開	

ア 構成

- 現行計画（第3次）から変更あり（次のスライド「イ 現行計画（第3次）からの主な変更点」にて説明）。

1 基本理念

2 基本方針

- (1) 生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進
- (2) 持続可能な食を支える食育の推進

3 指標及び目標値

1(4) Ⅲ 神奈川県が目指す食育の方向 ②

I はじめに	V ライフステージごとの取組例
II 食をめぐる現状	VI 推進体制
Ⅲ 目指す食育の方向	<参考>
IV 食育推進の施策展開	

イ 現行計画（第3次）からの主な変更点（資料2 P.22）

- 「2 基本方針」を、国第4次計画の重点事項を基に、「生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進」及び「持続可能な食を支える食育の推進」に更新。
- 取組の実施に当たり考慮すべき「横断的な視点」として、『「新たな日常」やデジタル化に対応した食育の推進』を追加。

基本方針（第3次計画）
健康な体をつくる
豊かな心を育む
食への理解を深め「神奈川の食」に親しむ



基本方針（第4次計画）
生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進
持続可能な食を支える食育の推進
【横断的な視点】 「新たな日常」やデジタル化に対応した食育の推進

- 「生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進」及び「持続可能な食を支える食育の推進」の2つを柱にしたことに対応し、「1 基本理念」を更新。
- 「3 指標及び目標値」の変更（次スライドからの「ウ 指標及び目標値の考え方」にて説明）

1(4) Ⅲ 神奈川県が目指す食育の方向 ③

I はじめに
 II 食をめぐる現状
Ⅲ 目指す食育の方向
 IV 食育推進の施策展開

V ライフステージごとの取組例
 VI 推進体制
 <参考>

基本方針	指標	目標値(9年度)
生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進	①主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている県民の割合 <変更(スライド13)>	60%以上
	②主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている若い世代(20~39歳)の割合 <追加(スライド11)>	40%以上
	③朝食を欠食する県民の割合 <変更(スライド13)> ア 小学6年生 イ 中学3年生	0%に近づける
	ウ 男性 工 女性 (15~19歳) (20~29歳) (30~39歳)	15%以下
	④一日当たりの平均野菜摂取量	350g以上
	⑤一日当たりの平均食塩摂取量	8g未満
	⑥一日当たりの平均果物摂取量100g未満の県民の割合 <追加(スライド11)>	30%以下
	⑦ゆっくりよく噛んで食べる県民の割合	60%以上
	⑧朝食・夕食を家族と食べている、又は一人暮らしの方で、昼食・夕食を仲間など複数で食べている「共食」の回数 <目標値変更(スライド14)>	〔家族〕週11回以上 〔一人暮らし〕週2回以上
	⑨食育に関心を持っている県民の割合	(12月)
	⑩食育の推進に関わるボランティアの数 <目標値変更(スライド14)>	(現状維持)
⑪食品の安全性に関する知識があると思う県民の割合	(12月)	

基本方針	指標	目標値(9年度)
持続可能な食を支える食育の推進	⑫栄養教諭による地場産物に係る食に関する指導の平均取組回数 <追加(スライド11)>	月12回以上
	⑬学校給食における地場産物を使用する割合(金額ベース)を現状値から維持向上した市町村の割合 <変更(スライド13)>	90%以上
	⑭学校給食における国産食材を使用する割合(金額ベース)を現状値から維持向上した市町村の割合 <追加(スライド11)>	90%以上
	⑮いただきますなどのあいさつや、箸の持ち方など、食事のマナーを正しくできていると思う県民の割合 <変更(スライド13)>	(12月)
	⑯農林水産業の体験や伝統ある食文化を伝えていく機会や場があることに満足している県民の割合 <目標値変更(スライド14)>	7.2%以上
	⑰地元でとれた新鮮な野菜や魚を食べられることに満足している県民の割合 <目標値変更(スライド14)>	30%以上
	⑱環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶよう心掛けている県民の割合 <追加(スライド11)>	
	⑲食べ物を無駄にしないよう気を付けている県民の割合	(12月)

1(4) Ⅲ 神奈川県が目指す食育の方向 ③

I はじめに
 II 食をめぐる現状
Ⅲ 目指す食育の方向
 IV 食育推進の施策展開

V ライフステージごとの取組例
 VI 推進体制
 <参考>

ウ 指標及び目標値の考え方 (資料2 P.23,24)

(ア) 追加した指標

➤ 国第4次計画の指標に合わせ、5点の指標を追加。

追加した指標	現状値	県目標値 (R9年度)	(参考) 国目標値 (R7年度)
② 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている若い世代(20~39歳)の割合	37.0% (H29-R元年)	40%以上	40%以上
⑥ 一日当たりの平均果物摂取量100g未満の県民の割合	57.0% (H29-R元年)	30%以下	30%以下
⑫ 栄養教諭による地場産物に係る食に関する指導の平均取組回数	月8.8回 (R3年)	月12回以上	月12回以上
⑭ 学校給食における国産食材を使用する割合(金額ベース)を現状値から維持向上した市町村の割合	—	90%以上	90%以上
⑱ 環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶよう心掛けている県民の割合	—		75%以上

1(4) Ⅲ 神奈川県が目指す食育の方向 ④

I はじめに	V ライフステージごとの取組例
II 食をめぐる現状	VI 推進体制
Ⅲ 目指す食育の方向	<参考>
IV 食育推進の施策展開	

ウ 指標及び目標値の考え方

(1) 削除した指標

➤ 2点の指標を削除

削除した指標	削除理由
就寝前2時間以内に食事をとらないよう気を付けている県民の割合	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 国計画の指標「生活習慣病の予防や改善のために、普段から適正体重の維持や減塩等に気を付けた食生活を実践する国民の割合」に対応して設けた指標 ➤ 「適正体重の維持」は「かながわ健康プラン」の指標「適正体重を維持している者の増加の割合」で、「減塩等に気を付けた食生活」は指標④「一日当たりの平均食塩摂取量」で把握できる。
学校給食の残食率（野菜）の減少（公立）	<ul style="list-style-type: none"> ➤ コロナ禍につき、残量を正しく出せない施設があり、現状すでに参考値となっている。 ➤ 日本食品標準成分表2020版(8訂)と7訂で栄養素量の基準値が大きく変わるため、8訂への移行が済むまで7訂と8訂を使用する施設を分けて集計し、参考値を算出する予定であり、正式な数値を出すことができない。 ➤ 県独自の目標であり、国に目標がなく、他県との比較検討ができない。

1(4) Ⅲ 神奈川県が目指す食育の方向 ⑤

I はじめに
 II 食をめぐる現状
Ⅲ 目指す食育の方向
 IV 食育推進の施策展開

V ライフステージごとの取組例
 VI 推進体制
 <参考>

ウ 指標及び目標値の考え方 (資料2 P.23,24)

(ウ) 変更した指標

➤ 4点の指標を変更

変更前	変更後	変更理由
主食、主菜、副菜を組み合わせた食事を心がけている県民の割合	① <u>主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている県民の割合</u>	➤ 国第4次計画の指標に合わせるため
朝食を欠食する県民の割合 (<u>小学5年生、中学2年生</u>)	③ <u>朝食を欠食する県民の割合 (小学6年生、中学3年生)</u>	➤ 国第4次計画の指標に合わせるため
公立小・中学校の学校給食において地場産物を使用する割合 ※ <u>品数ベース</u>	⑬ <u>学校給食における地場産物を使用する割合(金額ベース)を現状値から維持向上した市町村の割合</u>	➤ 国第4次計画の指標に合わせるため
食事のマナーを正しくできていると思う県民の割合	⑮ <u>いただきますなどのあいさつや、箸の持ち方など、食事のマナーを正しくできていると思う県民の割合</u>	➤ 「食事のマナー」のみだと、いわゆるテーブルマナーを連想させるため、あいさつや箸使いを例示

1(4) Ⅲ 神奈川県が目指す食育の方向 ⑥

I はじめに	V ライフステージごとの取組例
II 食をめぐる現状	VI 推進体制
Ⅲ 目指す食育の方向	<参考>
IV 食育推進の施策展開	

ウ 指標及び目標値の考え方 (資料2 P.23,24)

(I) 変更した目標値

➤ 4点の目標値を変更

目標値を変更した指標	変更前	変更後	変更理由
⑧ 朝食・夕食を家族と食べている、又は一人暮らしの方で、昼食・夕食を仲間など複数で食べている「共食」の回数	家族：週11回 単身：週4回	家族：週11回 単身：週2回	➤ 直近5年間実績値平均の10%程度増
⑩ 食育の推進に関わるボランティアの数	8,300人以上	現状維持	➤ コロナ禍の影響でボランティア数が減少しているため。
⑯ 農林水産業の体験や伝統ある食文化を伝えていく機会や場があることに満足している県民の割合	6%以上	7.2%以上	➤ 直近5年間実績値平均の10%程度増
⑰ 地元でとれた新鮮な野菜や魚を食べられることに満足している県民の割合	28%以上	30%以上	➤ 直近5年間実績値平均の10%程度増

※ 指標⑦、⑨、⑪及び⑮は、県民ニーズ調査（課題調査）の令和4年度集計結果が発表（12月中の想定）されしだい、目標値を更新します（国目標値又は「直近5年間実績値平均の10%程度増」に設定する想定）。

1 (5) IV 食育推進の施策展開 ①

I はじめに	V ライフステージごとの取組例
II 食をめぐる現状	VI 推進体制
III 目指す食育の方向	<参考>
IV 食育推進の施策展開	

ア 構成

- 第IV部「食育推進の施策展開」の構成は、現行計画（第3次）から変更なし。

1 施策展開の考え方

- (1) 食育に係る本県の特性を活かした施策展開
- (2) 県、市町村、県民・関係団体・事業者等の役割と連携

2 食育の基本的施策

- (1) 施策体系図
- (2) 具体的な取組・内容

3 県民、団体、事業者等に期待される取組

イ 現行計画（第3次）からの主な変更点

- 「Ⅲ 2 基本方針」（資料2 P.22）に合わせて、「2(1) 施策体系図」を変更（次スライド「ウ 施策体系の主な変更点」にて説明）
- 「2(2) 具体的な取組・内容」を変更（スライド17「エ 具体的な取組・内容の主な変更点」にて説明）

1(5) IV 食育推進の施策展開 ②

I はじめに	V ライフステージごとの取組例
II 食をめぐる現状	VI 推進体制
III 目指す食育の方向	<参考>
IV 食育推進の施策展開	

ウ 施策体系の主な変更点 (資料2 P.28~30)

- 国第4次計画の施策体系及び基本方針間のバランスを考慮し、施策体系を変更。
- 取組の実施に当たり考慮すべき「横断的な視点」として、『「新たな日常」やデジタル化に対応した食育の推進』を追加。

生涯を通じた心身の健康を支える 食育の推進	持続可能な食を支える 食育の推進
(ア) 家庭での食育の推進	(ア) 家庭での食育の推進
(イ) 学校等での食育の推進	(イ) 学校等での食育の推進
(ウ) 地域での食育の推進	(ウ) 地域での食育の推進
(I) 食育推進運動の展開	(I) 食育推進運動の展開
(オ) 若い世代に向けた取組	(オ) 農林水産物の地産地消の促進
(カ) 食の安全への理解促進	(カ) 食を取り巻く環境への理解促進
(キ) 食に関する調査・研究	(キ) 食文化の継承の推進

【横断的な視点】 「新たな日常」やデジタル化に対応した食育の推進

1(5) IV 食育推進の施策展開 ③

I はじめに	V ライフステージごとの取組例
II 食をめぐる現状	VI 推進体制
III 目指す食育の方向	<参考>
IV 食育推進の施策展開	

【参考】 現行計画（第3次）の施策体系

健康な「体」をつくる	豊かな「心」を育む
(ア) 家庭での食育の推進	(ア) 学校等での食育の推進
(イ) 学校等での食育の推進	(イ) 食文化の継承の推進
(ウ) 地域での食育の推進	食への理解を深め「神奈川の食」に親しむ
(エ) 食育推進運動の展開	(ア) 農林水産物の地産地消の促進
(オ) 若い世代に向けた取組	(イ) 食を取り巻く環境への理解促進
	(ウ) 食の安全への理解促進
	(エ) 食に関する調査・研究

1(5) IV 食育推進の施策展開 ④

I はじめに	V ライフステージごとの取組例
II 食をめぐる現状	VI 推進体制
III 目指す食育の方向	<参考>
IV 食育推進の施策展開	

工 具体的な取組・内容の主な変更点

- 「(ウ) 地域での食育の推進」に、「事業所給食を通じた情報提供」等を追加。

取組区分	取組	
(イ) 学校等での食育の推進 (資料2 P.33,42)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 子どもの健康・体力づくりの推進 ➤ 給食施設への栄養成分表示等の指導 ➤ 学校における計画的な食育の指導支援 ➤ 子どもへの食に関する指導等の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 学校給食に係る表彰及び研修等の実施 ➤ 幼稚園・保育所等における食育支援 ➤ 県立社会福祉施設における食育の推進 ➤ <u>子どもの未病対策応援プログラムの実施</u> 新 ➤ 食育を推進するための人材養成
(ウ) 地域での食育の推進 (資料2 P.35.44)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ <u>未病センターにおける健康支援プログラムの実施</u> 新 ➤ 食生活改善の普及啓発 ➤ 生活習慣病予防の知識の普及啓発 ➤ 食生活改善推進員の活動の支援 ➤ 和食、日本型食生活、行事食、地域の伝統料理の普及啓発 ➤ 介護予防関連事業の実施の支援 ➤ 口腔機能の健全な育成及び維持向上の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ オーラルフレイル健口推進員の養成と活動支援 ➤ 栄養サポートステーションの展開 ➤ 健康に配慮した惣菜・弁当の開発等 ➤ <u>事業所給食を通じた情報提供</u> 新 ➤ 給食施設への栄養成分表示等の指導 ➤ 子どもの居場所づくりと連携した共食の推進

1(6) V ライフステージごとのテーマと取組例

I はじめに
II 食をめぐる現状
III 目指す食育の方向
IV 食育推進の施策展開

V ライフステージごとの取組例
VI 推進体制
<参考>

ア 構成

- 第V部「ライフステージごとのテーマと取組例」の構成は、現行計画（第3次）から変更なし。

- 1 ライフステージごとのテーマと取組例
- 2 食育の取組総括表

イ 現行計画（第3次）からの主な変更点（資料2 P.52~55）

- 「1 ライフステージごとのテーマと取組例」及び「2 食育の取組総括表」とともに、「IV 食育推進の施策展開」の変更に合わせて更新。

1(7) VI 推進体制

I はじめに	V ライフステージごとの取組例
II 食をめぐる現状	VI 推進体制
III 目指す食育の方向	<参考>
IV 食育推進の施策展開	

ア 構成

- 第VI部「推進体制」の構成は、現行計画（第3次）から変更なし。
 - 1 庁内推進体制
 - 2 県民との推進体制
 - 3 民間団体等との推進体制
 - 4 市町村、国との推進体制
 - 5 計画の達成状況の点検及び評価

イ 現行計画（第3次）からの主な変更点（資料2 P.57）

- 県組織改編に伴い、「1 庁内推進体制」中、「かながわ食育推進会議」の座長及び委員を変更。

かながわ食育推進会議（第3次計画）	
座長	保健福祉局長
副座長	環境農政局長
委員	県民局長 教育局長



かながわ食育推進会議（第4次計画）	
座長	健康医療局長
副座長	環境農政局長
委員	福祉子ども未来局長 教育局長

1(8) 参考 ①

I はじめに	V ライフステージごとの取組例
II 食をめぐる現状	VI 推進体制
III 目指す食育の方向	<参考>
IV 食育推進の施策展開	

ア 構成

- 「参考」の構成は、現行計画（第3次）から変更なし。

1 「第3次神奈川県食育推進計画」の評価

2 県内市町村の食育推進計画

3 用語解説

イ 現行計画（第3次）からの主な変更点

- 「第3次神奈川県食育推進計画」の評価を掲載（次スライド『ウ 「第3次神奈川県食育推進計画」の評価』にて説明）
- 「3 用語解説」に7点の用語を追加（資料2 P.67~70）

追加した用語

新しい生活様式	かながわブランドキャラバン
新たな日常	環境負荷低減事業活動
エコフィード	食品ロス
オーラルフレイル	

1(8) 参考 ②

I はじめに	V ライフステージごとの取組例
II 食をめぐる現状	VI 推進体制
III 目指す食育の方向	<参考>
IV 食育推進の施策展開	

ウ 「第3次神奈川県食育推進計画」の評価

➤ 「現状値」の更新に伴い、前回会議（令和4年8月23日開催）にて報告した評価結果から、2指標の進捗率区分が変更した。

進捗区分 ○ (達成)	3指標 ⇨ 2指標
進捗区分 △ (改善)	7指標 ⇨ 9指標
進捗区分 × (悪化)	6指標 ⇨ 5指標

指標	計画策定時	現状値	目標値	進捗率	区分
⑩ 公立小・中学校の学校給食において地場産物を使用する割合 (資料2 P.61)	17.3% (H28)	16.7%(R 2) ↓ 18.7%(R 3)	30%以上	△4.7% ↓ 11.0%	×(悪化) ↓ △(改善)
⑭ 地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられることに満足している県民の割合 (資料2 P.62)	24.9% (H29)	29.1%(R 3) ↓ 27.9%(R 4)	28%以上	135.5% ↓ 96.8%	○(達成) ↓ △(改善)

※ 指標①、⑤、⑦、⑧、⑨、⑫、⑮及び⑯は、県民ニーズ調査（課題調査）の令和4年度集計結果が発表（12月中の想定）されしだい、現状値を更新します。

※ 指標⑥は、調査集計が終了（12月想定）しだい、現状値を更新します。

2 今後のスケジュール

2 今後のスケジュール

- 前回会議（令和4年8月23日開催）にてお示ししたスケジュールから変更なし。

日程	内容
11月17日 （本日）	第22回かながわ食育推進県民会議（今年度2回目） 「第4次神奈川県食育推進計画」素案について
12月上・中旬	神奈川県議会常任委員会へ計画素案報告
12月中旬～1月中旬	パブリックコメントの実施
2月中旬	第23回かながわ食育推進県民会議（今年度3回目） 「第4次神奈川県食育推進計画」（案）について
2月	神奈川県議会常任委員会へ計画案報告
3月	第4次神奈川県食育推進計画の策定

3 その他

説明は以上です。